

意外などところで人気復活 リヤカーは夢の未来カー

日本人が生み出した世界の宝、リヤカー。操縦性に優れ、環境にもやさしいと見直され、いま町中を走り回っている。レジャーに、ビジネスに、そして防災用の必需品として…そんなリヤカーを40年間、作り続けた男がいる！



リヤカーが静かなブームを呼んでいる。企業カーラーで統一された宅配便の小型リヤカーが路地を走り回り、公園にはおしゃれな移動式カーフェが登場。ホテルではシックな色合いのリヤカーが利用され、企業や学校などでは、災害時に備えてリヤカーを常備しているところが増えている。

「一時は生産が減ったが、ここ5~6年は、注文が殺到。朝から晩まで設計図とにらめっこです」と、親方の山田光男さんは語る。

リヤカーの歴史は古い。いまから90年近く前の大正10年ころ、ヨーロッパから輸入されたバイクのサイドカーを見た町の発明家が、鉄パイプで形を作り、自転車に取り付けたのが始まり。横(サイド)ドア・タンザニアに40日間の技術指導でかけたが、このとき継承されたリヤカー製造の技術は、現在、アフリカ復興のために活かされている。

北アメリカ大陸縦断に挑戦している山口徹さんのリヤカーも親方による手づくりである。さらに、親方のリヤカー製造技術は国連でも認められた。国連の依頼を受けて、アフリカ・タンザニアに40日間の技術指導でかけたが、このとき継承されたリヤカー製造の技術は、現在、アフリカ復興のために活かされている。

リヤカーのエネルギーは人力。エネルギーと環境が、地域全体の問題として呼ばれている。世界に誇れる日本の発明品、リヤカーは、世界の宝として、世界中に広まっている。

日本で生まれた世界に誇れる発明品

昭和30年代に入ると、八百屋、魚屋、花屋など、さまざまな業種の人たちがリヤカーを引いて商売をするようになり、町のあちこちで目にするほど普及が進んだ。しかし、昭和40年代後半から、モータリゼーションの波に飲まれて次第にその姿を消し、都会では見かけることが少なくなつていていたのだ。

昭和30年代後半から、モータリゼーションの波に飲まれて次第にその姿を消し、都会では見かけることが少なくなつていていたのだ。

ところが近年、リヤカーのよさが見直されている。中越地震では家財道具を運ぶときにリヤカーが使用された。災害に備え、団体に限らずリヤカーを常備する家庭も増えている。リヤカーを常備する家庭も増えている。災害に備え、団体に限らずリヤカーを常備する家庭も増えている。

「子ども誕生日プレゼントに、ちいさなりヤカーや作ってあげたら、近所で評判になってしまい、その噂をどこで聞きつけたのか、商店マンがやってきて、「売りたい」という役割に目が向けてきたのだ。親方が制作した幼稚園児用のお運びリヤカーは、たちまち人気となつた。最近は、ディスプレイ用のリヤカーも依頼が多いですよ」。オシャレなデザインリヤカーも増えている。他にも移動式カーフェやフレンチショット、宅配用のリヤカーナど、リヤカーカーの使用目的は多様だ。

「犬の車いすを作ったこともあります。足の機能を失った犬のため、飼い主からの熱い要望で作らせてもらいました。親方が制作したリヤカーカーは、たちまち人気となつた。最近は、ディスプレイ用のリヤカーカーも依頼が多いですよ」。オシャレなデザインリヤカーカーの使用目的は多様だ。

「犬の車いすを作ったこともあります。足の機能を失った犬のため、飼い主からの熱い要望で作らせてもらいました。親方が制作したリヤカーカーは、たちまち人気となつた。最近は、ディスプレイ用のリヤカーカーも依頼が多いですよ」。オシャレなデザインリヤカーカーの使用目的は多様だ。

●日本職人名工会との取り組み

職人の技文化の活性化を目的とする非営利団体。日本の製造業はすべて職人文化から発展し、大きな繁栄をもたらしてきましたが、時代が変わり、技術革新によって生活物品や手作り物は、ほとんどが成型物にとって代わってしまいました。このような時代に技を磨き、名を馳せるこどもなく「もの」づくりに専念する職人達がいます。「日本職人名工会」と「STEELER C.K.M.(株)」の「づくり研究所」は連携し、職人の技文化をめぐらし、日本の伝統を未来に残す活動を推進しています。

こんなふうに使っています

- 仲間たちとの楽しいバーベキュー。組み立て式のリヤカーでコンロや燃料、食器、食材などを運んでいます。
- 家庭菜園でとれた収穫物や肥料を運ぶのにも最適。
- 幼稚園の運動会をはじめ、さまざまなイベントで、用品の出し入れに利用しています。
- 宅配便の会社が使っている特注のリヤカーは小回りが利くため、一般の企業でも採用。
- 子ども用リヤカーにおもちゃをしまっています。子どもがリヤカーを引いて遊びに行く姿はとてもかわいいです。
- その他、移動式のパン屋、花屋、カフェ、クレープ屋など、さまざまな業種で活躍中。



アフリカ、南米:
世界に飛び出したリヤカー

また、組み立て式のリヤカーを引いて、南米のリヤカーも親方による手づくりである。さらに、親方のリヤカー製造技術は国連でも認められた。国連の依頼を受けて、アフリカ・タンザニアに40日間の技術指導でかけたが、このとき継承されたリヤカー製造の技術は、現在、アフリカ復興のために活かされている。

リヤカーのエネルギーは人力。エネルギーと環境が、地域全体の問題として呼ばれている。世界に誇れる日本の発明品、リヤカーは、世界の宝として、世界中に広まっている。



日本から様子を見に行行ったタンザニア工場のワーキング部員の姿も見える。

お客様の希望のリヤカーを作ります！



「移動式カーフェ用のリヤカーが欲しかった」「家の通路の幅に合わせて作ってもらいたい」「移動式のリヤカートを作りたい」

など、お客様の希望のリヤカーの設計、製作を山田親方にお願いすることができます。形だけでなく色やデザインなどお気軽にご相談ください。



お問い合わせ

【お客様窓口】

0800-888-0077

(AM9:00 ~ PM8:30)

使う人の身になって作られた。安全で丈夫なリヤカー。

企業や団体、学校などでは災害時に備えてリヤカーを常備



▲リヤカーはアウトドアから災害時の運搬まで幅広く利用でき、いざという時に役立つベストアイテム。

商品番号 PP0130-16846 75,600円(税込) 使用後返品不可

●サイズ/荷台: 幅70×奥行91×高さ45cm ●材質/ステンレス ●重さ(約)/38kg ●耐荷重量(約)/最大350kg ●日本製 ※大型商品につき送料3,150円(税込)を申し受けます。※この商品のお支払方法はカードまたは代金引換とさせていただきます。※手作り品の為お届けまでに40日ほどかかる場合がございます。

親方の組み立て式リヤカーは、本格派で丈夫

子供用リヤカーは、バランス・安全性を重視



商品番号 PP0130-16847

一括価格 40,740円(税込) 使用後返品不可

郵便分割価格 42,840円(税込) (毎月5,354円×8回)

●サイズ/荷台: 幅40×奥行60×高さ28cm ●材質/ステンレス ●重さ(約)/10kg ●耐荷重量(約)/最大30kg ●日本製 ※手作り品の為お届けまでに40日ほどかかる場合がございます。

山田親方の組み立て式リヤカー

商品番号 PP0130-16845

189,000円(税込) 使用後返品不可

●サイズ/荷台: 幅85×奥行121×高さ45cm、収納時: 幅80×奥行90×高さ40cm ●材質/ステンレス ●重さ(約)/40kg ●仕様/耐荷重量(約): 最大300kg、組立時間の目安: 10~15分 ●日本製 ※大型商品につき送料2,100円(税込)を申し受けます。※この商品のお支払方法はカードまたは代金引換とさせていただきます。※手作り品の為お届けまでに40日ほどかかる場合がございます。